

質疑応答

質問：1

今年の「アグレッシブ」等のコンセプト対して、実際にどう選手に体力をつけて走らせるのか？

回答：西山

数年前、コンセプトを掲げたが表現できていなかったシーズンもあったかと思います。昨シーズンから、オールアウトと呼んでいるゲーム形式でのトレーニングをしています。倒れるくらい最後までプレーするという練習です。このトレーニングによってサッカーの練習でフィジカルを上げることが出来ています。結果、昨シーズンに関しましては、フィジカルは右肩上がりでコンディションが上がっていったと認識していますので、今シーズンも継続してよりたくましい選手を作っていきたいと思います。

質問：2

勝ち点の目標は45とのことですが、残留の勝ち点はどれくらいでしょうか？

回答：榎

まず、勝ち点45を取ればほぼ残留するだろうと考えております。そこに早く達成し、さらに勝ち点を積み上げていこうと考えています。

質問：3

勝ち負けに関わらず、ニータンにはもっと試合後に周回してもらえればと思います。

回答：榎

承知しました。ニータンに相談して周るように頼んでみます。

ニータンには勝敗に関わらず周回してもらえることを快諾いただきました。

質問：4

9,000人の平均入場者数を指すなかで、問題が駐車場です。A駐車場で別のイベントがあるとH駐車場まで行かなくてははいけません。

また、MDPについて、西口での配布が残りわずかの場合でも、北口、東口では余っていることも多い。配置をもう少し考えてほしい。返答はいりません、よろしくお願いします。

回答：榎

ありがとうございます。

MDPについては、試合当日の配布状況を共有し、改善していきます。

質問：5

練習試合で情報漏えいがないようにネット関係を規制していますが、もう少し柔軟に対応してもらいたい。

また、情報規制を守らない人にはクラブからペナルティを課すことは出来ませんか？

回答：榎

練習試合や練習時のマナー等について、もう一度ガイドラインのようなものを設置して皆さんにわかりやすいようにお知らせしたいと思います。

公式HPにある練習場での注意事項を整理し、SNS等のガイドラインも含め、わかりやすいかたちでお伝えしたいと思います。

質問：6

これからは選手、フロント、コーチの取り合いが始まると思っています。外部から選手、フロント、コーチを大分に呼び寄せるための考えや取り組みは考えていますか？

回答：榎

育成型のチームであっても、大分のために頑張ろうと思ってやってきた選手がお互いに切磋琢磨しあい、仲間として一つの目標に向かっていくのが理想だと考えています。そういった意味でもスカウト部分は重要です。外国人選手についても、実際に期間を設けて練習や動きを強化部長の目で見えて獲得したいと考えています。具体的な方法は、強化部がしっかり見ていくことがまず1番。クラブはそういう選手に見合うお金を準備できるようになることが2番。誘い文句としては、若手選手にはトリニータに来ればしっかり育つことが出来ること。円熟期の選手にはもちろん競争がありますが、試合に出場できることをアピールしていくこと。また、他チームや代理人との情報網をしっかり作っていくことが必要だと思います。

質問：7

増えた配分金を人へ投資、施設へ投資すれば、選手・フロント・コーチから見た魅力が増すのではないのでしょうか？

回答：小澤

収入をどこに配分していくかはとても大切だと思います。トップチームもアカデミーに関してもそうですが、強いチームを作るには3つの要素が必要だと考えています。まず1つは選手のポテンシャル、2つ目は指導者のポテンシャル、3つ目は特に大事だと思っていますが環境の部分です。クラブハウスや専用のグラウンドもそうですが、メディカル部門や寮の管理など、整った環境がこのチームでプレーしたいと思ってもらえる要素でもあると思います。特に今年の若い選手はクラブハウスや専用のグラウンドがあるというトリニータの環境を見て集まってくれている部分もあります。フットボール事業本部としてはアカデミーの環境についても少しずつ手を加えていきたいと考えております。

質問：8

試合後のシャトルバスについて、最終便の出発が早く乗り遅れることがあるので検討してください。

回答：榎

シャトルバスについては、乗れなかったということがあってはならないので、大分バスさんとも協議しながらしっかり改めていきたいと思います。

後日、大分バスさんと協議いたしまして、最終便の出発目安を試合終了後10分から20分に変更いたしました。

質問：9

地域等の集まりに選手を派遣する話はよく聞きますが、もっと学校に行くことはできないでしょうか？

また、スポンサーは大分に関係なく、世界規模の大きなスポンサーがあってもいいのではないのでしょうか？

回答：榎

まず小学校の訪問ですが、大変申し訳ございません。我々のPR不足です。かなりの数を訪問しております。選手2名と普及コーチを派遣し、サッカーの授業を行い、給食と一緒に食べながら交流を行っています。もっとPRして、今以上に訪問数も増やしていきたいと思っております。

スポンサーですが、県内企業だけでなく、もっと外へ出ていくことが必要だと思います。県内企業が中心ではありますが、県内企業に限定しているわけではありません。ちなみに、永年ご支援いただいているネットワン様は東京に本社を置く企業です。県内企業に限定せず広い視点で営業していきたいと思えます。

公式HPのホームページを充実させる準備をしております。また、SNSでも随時、情報提供していきたいと思えます。

質問：10

ファン・サポーターの高齢化への対応を考えていただきたい。トリニータへの関心や注目は高く、1万人くらいの動員力はあると思えます。集客はどう考えているか？

回答：榎

厳しい状況だということは認識しています。Jリーグ全体としても観客が高齢化しております。その中でもトリニータのサポーターはさらに高齢化しています。それをふまえて、大分大学、別府大学、芸短大、日本文理大、今年はAPUも含めて、大学と連携しながら少しでも若い観客、新しい観客をつくっていきたくて考えております。

また、高齢の方にどんな楽しみを提供できるか、今、具体的に申し上げることは出来ませんが、例えば、飲食の充実など試合内容以外でも満足感を持って帰っていただけるような

スタジアムにしたいと思っています。ホスピタリティ日本一を目指す、これはJ2でも出来ることなので、いろんな方に優しいスタジアムを作っていきたいと思っています。

質問：11

レプリカユニフォームは、開幕前に販売できないのでしょうか？

また、SNSをうまく活用していただきたいです。試合前後の様子などを上げるとファンの方も非常に喜ぶと思います。

回答：榎

レプリカユニフォームの件ですが、本当に申し訳ございません。いろんな要素が重なって遅くなっております。重大なことだと我々も認識しております。来年に向けて何とか改善していきたいと思います。複数の相手方があることですので確約は出来ませんが、やはり普通であれば開幕に間に合うというのが鉄則だと思います。SNSに関してですが、そういったことに詳しい職員も入社しましたので、しっかり改善していきたいと思います。

質問：12

2019年ラグビーW杯との連携と翌年のサッカーW杯を見据えているか。

レディースの環境を整えていってほしい。あとファンドの状況はいかがでしょうか？

回答：榎

サッカーW杯については不確定のところもあり、そこまで見据えておりません。ラグビーW杯とはボランティアの件を含め、色々なことで協力し合っていこうと考えております。しかし、我々クラブとしてはリーグ戦等が当然大事になってまいります。ファンドの件ですが、毎年利益の中から少しずつ返済しているのと、株主を探して株を買ってもらい返済しています。いまだ再建途中ではありますが、出来るだけ早く計画的に解消したいと考えております。

回答：小澤

レディースに関してですが、経営危機の際に多額のお金がかかることもあり、なでしこを目指さないという方針を取りました。今は中学生を中心に高校生が複数いるというチームです。環境の部分ではトップチームの練習場の隣の人工芝を20時～21時までですが使えるようにしたり、出来る範囲のことは精一杯取り組んでおります。ただ、メディカル部分など改善していく必要はあります。また、日本代表女子U-19にレディース出身の目原（莉奈）さんが選ばれたことは、今の選手にとっても大きな目標が出来たと思っています。今すぐになでしこを目指すとは申し上げられませんが、我々を通してなでしこ、日本代表を目指していける環境を作っていければと思っています。

質問： 13

地下駐車場の開門が開場の時間と同じです。もう少し早く開門できないでしょうか？
練習場の近くに煙の出る建物がありますが、選手や一般の方への影響はないのでしょうか？

回答：榎

地下駐車場の開門時間ですが、運営とも話をして検討します。練習場の件ですが、若干臭いは気になるのですが、選手などに実態調査をしてみたいと思います。

開場の 10 分前から入庫できるよう、警備員含め徹底するよういたしました。

煙の影響ですが、大分市環境対策課とも相談したいと思います。

【閉会あいさつ】

榎

お忙しい中、約 1 時間 20 分にわたりお付き合いいただきありがとうございました。今日頂きましたご意見は本当に貴重でございます。もちろん出来ること、出来ないことはありますが、しっかりと検討していきますのでこれからも貴重なご意見をいただければと思っております。最後になりますが、みなさん是非スタジアムにお越しください。お待ちしております。ありがとうございました。

以上